

認定こども園移行は 答 基本構想を策定

NEXT京田辺

(河本 隆志 議員)



市道新田辺駅前線から臨む
田辺中央北地区

○ これまでの方針を踏まえ、中学校給食実施を進めていく考えであるのか。

○ 検討内容を踏まえ、どのようなセンター、共同調理方式にするのか最終的な方向性を検討したい。

○ 田辺中央北地区新市街地整備のランドデザインは、

○ 公共サービス機能を併設した複合型文化施設を配置し、商業や医療、福祉宿泊などの都市機能を誘導したい。

○ 都市計画道路大住室内線の完成メドは、

○ 技術的な課題解消に向けた検証を行い、事業の具現化を検討したい。

○ 市立大住幼稚園の認定こども園移行へ向けたスケジューリングは、また、他の市立幼稚園に対する移行の考えは、

○ 基礎調査結果を踏まえ基本構想を令和元年度中に策定する。設計施工等、具体的スケジュールは基本構想の中で明らかにする。

○ 他市立幼稚園は、基本方針に沿って、幼稚園、保育所の再編、集約を進めつつ、老朽化、耐震化対策とあわせ、施設改修等を順次実施したい。

○ 産業振興ビジョンを再度検証し、新たな施策を展開していく考えは、

○ 市内産業の実態や市民ニーズを的確に捉えるためのアンケート調査や、直接事業所を訪問しヒアリング調査を行う予定。インバウンド誘致、府南部広域的な観光連携への対応など新たな方向も見出した。

○ 市内産業の実態や市民ニーズを的確に捉えるためのアンケート調査や、直接事業所を訪問しヒアリング調査を行う予定。インバウンド誘致、府南部広域的な観光連携への対応など新たな方向も見出した。

中学校完全給食の早期実現 答 最終的な方向性を検討する

公明 党

(河田 美穂 議員)



中学校の昼食時間の様子

○ 中学校完全給食の早期実現を、

○ 早期実現するには、給食センターを建設し、共同調理方式により実施すべきという方向性が示され、今後、この検討内容も踏まえて、どのようなセンター、共同調理方式にするかなど最終的な方向性を検討する。

○ ゆとりのある給食時間の確保には、具体的にどのような取組むのか。

○ 学校関係者との協議や生徒への聞き取りを行うなど、さらさら検討を進める。

○ 北陸新幹線の新駅設置に伴う周辺整備は、

○ 府や府南部市町村と連携し、早期整備に向けた取り組みを進める。

○ 誰もが安心して暮らせる全世帯型の支え合いシステムとは

○ しっかりと地域の中でも多様な世代が交流できるような形をつくって支え合いをしていきたい。

○ 誰もが確かな学力を習得できる環境整備とは、

○ 幼小接続カリキュラムの一層の向上を図り、幼小連携をさらに充実させ、ソフト・ハード両面において教育環境の整備を図る。

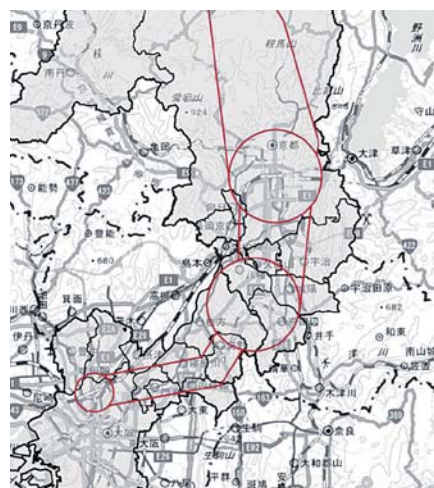
○ 年度途中においても、待機児童を発生させない仕組み作りとは、

○ 市立大住幼稚園の認定こども園化などによって保育提供量を拡大する教育委員会と健康福祉部に分かれていた幼保の組織についても見直しを行う。

北陸新幹線を積極的推進か 答 情報を市民に提供し説明

日本共産党京田辺市議会議員団

(青木 綱次郎 議員)



環境アセス配慮書で示された
事業想定区域図の一部

○ 非核平和都市宣言と平和首長会議の取り組みなど平和施策についての市長の見解は、また「ヒバクシャ国際署名」に市長も賛同を。

○ 非核平和都市宣言を尊重し、平和首長会議への加盟や「小・中学生ひろしま訪問事業」「平和のつどい」など平和意識の高揚に向けた取り組みを行っている。「ヒバクシャ国際署名」について、

○ 「平和首長会議」がすすめる署名活動を推進する。

○ 暮らしの実態についての見解は、市政が国による負担増から市民の暮らしを守る役割を果たし、消費税増税の中止を求めるべき。

○ 全体として緩やかに上向いていると認識している。限られた財源の中、市民の暮らしに沿った行政サービスを展開していく。消費税増改正是、全世代が安心して暮らせる社会保障制度のためと理解している。

○ 北陸新幹線京都南伸と松井山手駅周辺の新駅建設を施政方針で「大きな発展要素」とし「早期整備」に取組むとした。市長選前に「北陸新幹線のくる前に取組むべき課題がある」としていたが「早期整備」を打ち出し、積極的に推進するのか。またその財源をどう考えるのか。

○ 財源確保は着工の条件であり国の責任でやるべきもの。様々な意見や課題があることは認識している。情報を適切に市民に提供し、今後詳しく説明していく。

通学路に防犯カメラを 答 総合的に検討していきたい

京都南風の会・ 日本維新の会クラブ

(上田 毅 議員)



小学生の通学路
(三山木)

○ 安心・安全のため小学校通学路に防犯カメラの設置を。高槻市は平成24年4月に全市立小学校41校の通学路に1校あたり平均10台の防犯カメラ設置運用を始めている。

○ 未来を担う子どもの安心安全保護者やご家族の皆様が京田辺に住みたいと思っただけの街づくりを。

○ 防犯カメラの効果も含めて総合的に検討してまいりたい。今後さらさら研究してまいりたい。

○ 北陸新幹線の新駅設置に伴う周辺整備のひとつとして、JRの複線化を。本市の繁栄が激動する中で、今後の市の繁栄を考慮するならば、JR三山木駅までJRに対し複線化の推進を提言して行くべき。

○ JR片町線の充実に向けてさまざまな協議の場を要望を重ねてまいります。

○ 高齢化率の高い打田・高船・天王を含む普賢寺地域北部地域では、旧大住・旧松井地域においても、農家地域特区としての条例制定が必要。

○ 地元地域の要望や空き家・農地所有者からの申し出がない。よって事業の活用は考えていない。

○ 中学校給食について親子方式、自校方式、全校を一括するセンター方式の選択肢があるが、財政を視野に早々に決断いただき早急な対応を。

○ 早期に実現するにはセンターを建設し共同調理方式により実施すべき方向で、どの形にするか最終的に協議を進める。